

HPE Aruba リーナ通信

vol.

31

オンプレなのに過剰な投資なくスモールスタート それホント？

皆様

日本ヒューレット・パッカートの重村リーナです。

本メルマガをご覧頂きありがとうございます。

たまに回転させたくありませんか？

私はたまにあるんです、回転させたくなること。

ふふふ、お寿司ではありませんよ。

私のいう回転は、中華料理のターンテーブルのこと。

気の合う仲間と出かけて行って、大皿をみんなで取り分けてたくさんの料理を味わう...

至福の時間が過ごせる、あの回転テーブルでの食事です。

でも、外食が多くなりがちな営業ゆえに、お金を使いすぎるきらいが...

今月は入学、卒業などのイベントでいろいろ出費もありそうなので、

大皿料理を回転させる予算的なゆとりは...

そんな折、ちょうど客先帰りに中華街に立ち寄る機会があり、

何かリーズナブルなおいしいものを！ということで、先輩から情報をゲット。

なんと650円というリーズナブルなお値段で定食が食べられるお店を

教えていただきました。回転はしませんが、コスパはとってもいいようで。

先輩、あざーす。



おいしいものは夢中になるもの。

写真撮り忘れた、と思った段階ですでに3分の2はお腹の中でした...

正直おいしすぎて、写真のことを忘れていたぐらい！

先輩、あざーす。

そうそう、私が頼んだのは麻婆“海老”...ともいうべきメニュー。

ひき肉のみそ炒めに海老が入ったもの、といった方が正確かもしれません。

しかもその値段でライスお替り自由という無敵のランチでした！

いやー、エネルギー充電で午後からも仕事がんばれそうです！

でも先輩、会社に戻り次第頑張りますので、

帰りの電車は寝かせてください...た、食べ過ぎで、睡魔が...

さて、今週で第3回目となる「パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ」。フレキシブルキャパシティの特徴である、オンプレなのに過剰な投資をせずともスモールスタートできる、という驚きの理屈が明らかに。

目から鱗の新サービスにご期待を！

パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現 フレキシブルキャパシティ

HPE Arubaが提供する企業向けソリューションのメリットをお伝えしていく新シリーズ「パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ」の第3回目。



メリットが大きい新たな仕組みについて感心する美咲と大輔ですが、結局お金についての疑問がちらほら。本当に利用するメリットがあるのか、大きな視点に立ったコストメリットについて考えていきます。



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



オンプレミスなのに、拡張性がクラウド並みというのが「フレキシブルキャパシティ」だということまではわかったよ。



大輔さんとしては物分かりがいいですね。



あれ？そんなに物分かりがよくないと思ってた？心外だなー。



そうか、物分かりはいいけど、物覚えが悪いのか...



相変わらず手厳しいね...。でね、あと気になるのはお金かな。結局コスト的にちゃんとメリットが出せるかどうかでしょ。



月額利用できるということはわかっているんですけど。コストの考え方については、ブースのパネルに書いてあるみたいですよ。ちょっと見てみましょう。ふむふむ...むむむ、それはありがたい。



どう？



月額課金のサブスクリプションモデルであることは間違いないですね。実際には、それぞれの環境に応じて課金の単位が変わってきます。



具体的には？



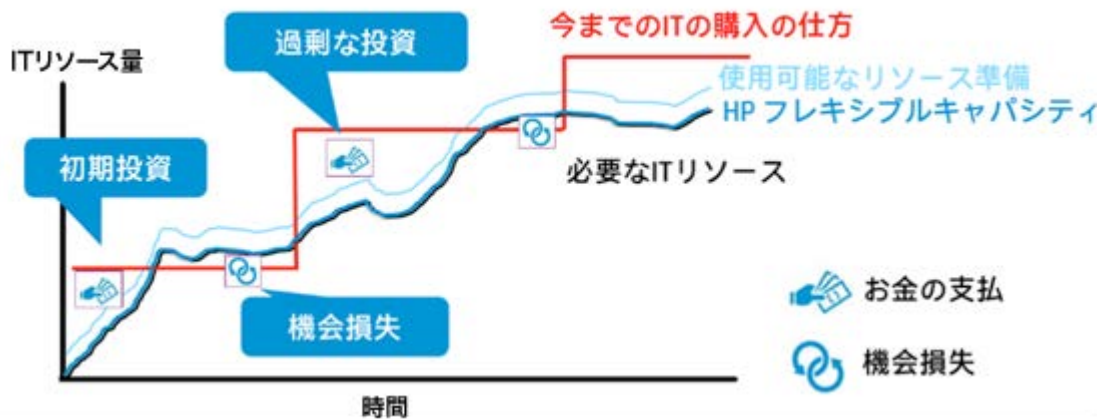
例えばサーバーなら台数単位、ストレージなら容量、SANスイッチならポート数、といった形です。



じゃあ調達するものによって課金の単位が異なるわけだ。リース的な料金ではなく、クラウド的な発想の料金体系だね。



今までのインフラ調達の方法では、事業が拡大する前に初期投資を大きくしなければならず、投資と成長とのギャップが生まれていました。でも、この方法なら、過剰な投資をすることなくスモールスタートでき、必要に応じてリソースが確保できるようになるわけですね。



それがクラウドじゃなくオンプレミスでできるというのが素晴らしいね！



しかも、この月額料金の中には...



え、まさか月々のおやつ代もサブスクリプションモデルとして提供されるとか...



急に脱線しましたね。違いますよ。



何が含まれるの？



この月額課金のなかには、初期の導入費や日々の運用保守料金も含まれているんですよ。なので、料金もまさにクラウド的な発想になります。



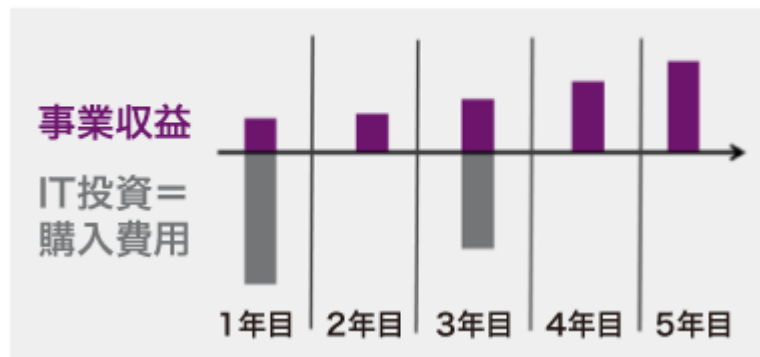
でも、最低契約期間とかはあるんでしょ。



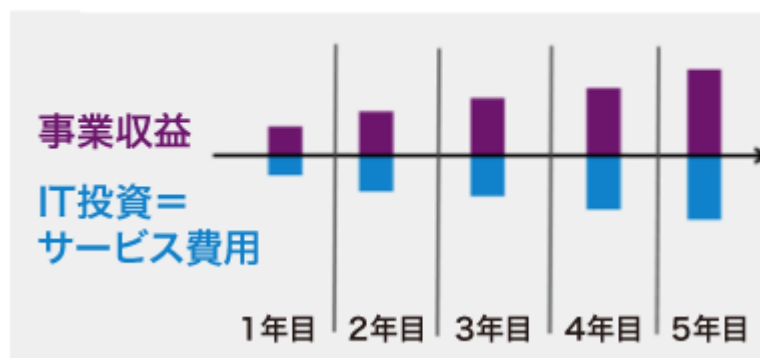
確かにそれはありますね。一応1年以上がベースになりますが、コンピュータパフォーマンスの高い性能が求められる業務は3年、安定化させたい業務なら5年といった契約パターンが多いようです。でも、これまでは3年や5年後に投資予算を計上し、都度システムの入替えが必要でしたが、この仕組みならランニング費用の中でシステムの入替えができるため、いつもパフォーマンスの高い状態で利用し続けることができるのです。技術革新の早いシステムなら、法定耐用年数よりも短期間でテクノロジーをリフレッシュすることも。事業の規模に応じて柔軟に拡張できるから、経営者にとりまたらキャッシュフローは安定しますし、メリットは大きいですね。



- ・多額の初期投資が必要
- ・初期投資の回収に時間が必要
- ・キャッシュフローがアンバランスに



- ・初期投資が不要
- ・収入とキャッシュアウトの期間が対応
- ・キャッシュフローが安定



プライベートクラウドが好まれる日本ならではの仕組みっぽい。



お、大輔さん、わかってきましたね。



これって最近増えてきたオフィスに置かれたお菓子販売のビジネスモデルと同じような感じなのかな？



また変なこと言おうとしてないですか？



つまりさ、社内にお菓子がたくさん入ったボックスがあって、食べた分だけ料金の回収に来ると。要望すれば種類も増やせるし、外に出て買い物に行けない人にも便利なやつだよ。



お菓자에例えようとするのはさすがですが、まあイメージはそうですね。とにかくビジネスを新規に立ち上げたいけど、外部に出せないものがたくさんあって、オンプレミスが前提、なんていう企業にはもってこいですね。



うーん、便利になるなー。こりゃいよいよ考えないと。



何をです？



僕の身の振りかたさ。だって本社の君ならいいけど、情報子会社という立場になるとシビアな面もあるからさ。



インフラ調達や保守だけではなく、もっと経営に直接貢献できるような業務に関わっていく必要はあると思いますよ。



いやそうじゃなくてさ。ようやく僕の趣味が生かせるかも、なんて。お菓子好きだから、商品開発とかマーケティングとかそっちの方に自分の能力を伸ばしていこうかな。



もっとシステム部門としてできることはたくさんあるじゃないですか。インフラのお守りから解放されるんだから、もっと社内にあるデータを分析できるような基盤をつくったり、働き方改革につながるような仕組み作りをサポートしたりとか...情シスとしてやるべき課題は山盛りです。



おお、美咲くん！成長したなあー。育ての親として、社会人の先輩としてうれしいよ。



急に“育てた感”出すのやめてもらえません。大輔さんに育ててもらった記憶が一切ないですよ。



何言ってんの、反面教師でしょ。僕のようにならないようにがんばってきたということは、意味のある存在でしょ。



だ、大輔さんがそんなまともなこと言うなんて...何か起こりそうな予感...



まあ、そんなことはどうでもいいの。僕が展示会に来た目的は、ノベルティをたくさんゲットすることだからさ。ああ、迷う。どこから回ろうかな。



.....まあがんばってください.....はあ、その性格がうらやましいですよ。

バックナンバー

- vol.30 「それってリースじゃないの？フレキシブルキャパシティの秘密」
- vol.29 「新サービス“フレキシブルキャパシティ”何がすごいの？」
- vol.28 「端末を離さない“スティッキー対策”の有効打」
- vol.27 「目に見えない無線LAN、音声品質を的確に把握する方法とは？」
- vol.26 「ワークスタイル変革に最適な無線LANの心得」
- vol.25 「また手作業？端末証明書の“セルフサービス化計画”を発動」
- vol.24 「妨害電波を出すAPが登場！テザリングを無効化する技」
- vol.23 「ClearPassが内部情報漏洩対策に？アクセス制御の極意を学ぶ！」
- vol.22 「新シリーズ「ClearPassによる安全対策のイロハ」スタート！」
- vol.21 「WAN回線の障害で認証できない... IAPならできる、そのワケ」
- vol.20 「無駄にならないIAPという選択肢」
- vol.19 「卓上APで工事費ゼロ、の衝撃」
- vol.18 「計算し忘れたAP工事費の後始末～前編～」
- vol.17 「SSIDを増やしてゲストに開放！遠隔地のAP設定に便利なツールとは？」
- vol.16 「トラブル発生でも大丈夫！原因究明に役立つAirWaveログの実力」
- vol.15 「他拠点への展開、遠隔地のAP管理もお手軽簡単に“見える化”」
- vol.14 「失念していた予備APのバージョンアップ、その対処法は？」
- vol.13 「30台のAP、LANにつなげるだけで自動設定できるスゴ技」
- vol.12 「天井設置が要らないAP！？無線LAN工事のすこワザ」

- vol.11 「コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ」
- vol.10 「予知できるから安心！ 無線LANトラブルの回避トリガー設定編(4/4)」
- vol.9 「予知できるから安心！ 無線LANトラブルの回避トリガー設定編(3/4)」
- vol.8 「大量通信の容疑者は誰だ！？ 無線可視化でわかること」
- vol.7 「無線LANアラートの閾値設定の方法、教えます！」
- vol.6 「マップから異常なAP、見つけた！！ 無線LAN障害の対処法」
- vol.5 「チャンネル使用率から原因を絞ってみると... 無線LANトラブル解析」
- vol.4 「クライアントのヘルス値が下がった要因とは？ 無線LANの健康状態を探る」
- vol.3 「無線LANがおかしい、21:30に何が起こっていたのか？」
- vol.2 「見えるから解決！ 無線LANトラブル1 うまくつながらない！ (2/2)」
- vol.1 「見えるから解決！ 無線LANトラブル1 うまくつながらない！ (1/2)」